

そばのはなし（石生谷町）

大昔のこと。神様が田畑の作物の中から五穀を決めることになりました。

それを聞いた米・麦・粟・豆・きび・そばは、五穀のなかに入れてほしいので、急いで神様の前へ行きました。

神様は、ひとりひとりの言うことを聞いて、米・麦・粟・豆と決めていきましたが、最後に、きびとそばが残りました。神様は、

「そばはうまいが腹もちが悪い（すぐに腹がへる）ので、きびにしよう。」

と、おっしゃって、そばは仲間からはずされてしまいました。

そばは何べんも五穀の仲間に入れてくれるよう
にお願ひしましたが神様は聞いてくれません。

「ようし、われ（お前）覚えていさね。これから

は、こやし一ぺんもくれんでも、いこう（大きく）なってやるし、草一本生えさせん。実がなつても、へらわして（拾わせて）やらん。」
と言ひ、くそこうがわいて（大そう腹がたつて）頭にきてもて、実が三角になってしまいました。
それからそばは、こやしもいらんし、草も生えないので、作りやすいと言われるようになりまし
た。

